

12/1~12/11 図書室
休館のお知らせ

蔵書点検等の特別整理を実施するため、12月1日(金)から12月11日(月)まで、図書室をお休みします。

12月12日(火)からは平常どおり利用できます。

問合せ 社会教育センター図書室 28-5449



みそ汁はおかずです

瀬尾幸子 著
(学研プラス)

切る、煮る、みそを溶く。ワザ、コツ不要。誰でも作れて、野菜がたくさん食べられる。みそ汁をこよなく愛する瀬尾さんが、おなじみの食材で作るみそ汁レシピを紹介する。



ぞりぞりとやさいがね

児童書

ひろかわさえこ 作
(偕成社)

台所の片隅で、すっかり古くなった野菜たち。月夜の晩に、「もう、がまんできない!」と、ぞりぞりと出かけます。さて、どこに行くのでしょうか?食べ物を大切にしたいくなる絵本。

11/11 おひさまのおはなし会

読書クラブおひさまの皆さんによる紙人形劇や手遊びを行います。
とき 11月11日(土) 午前9時30分~
ところ 社会教育センターホール 対象 小学校低学年、幼児

11/18 ゆめっ子の おはなし会

とき 11月18日(土) 午後1時30分~
ところ 社会教育センター和室 対象 小学校低学年、幼児

問合せ いずれも、社会教育センター図書室 28-5449

豊山俳句クラブ

青山克己 選

門灯のぼんやり秋を点しをる 青山とも子
遠き日の風や吹かれし赤とんぼ 水野真弓
秋空の前へ前へと並ぶ雲 谷崎 琴
くぐりぬけたる先はコスモス揺れる里 平手英信
山門に風の棲みつく今朝の秋 岡島 齋
長月の記憶に白き風が吹く 高木須磨子
静脈の浮き立つごとし稲光 石黒貴代子
草の陰この夏はもう終ります 青山克己
あまのこころやすがれて白き風になる 小塚美枝
すれ違ふせつなの風やねこじやらし 坪井径子
静脈の浮き立つごとし稲光 石黒貴代子
草の陰この夏はもう終ります 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

置物のごとき白鷺首伸べて 水谷弘子
水の黒める街川に佇つ 水野勝代
老いる身も枯れ木の花の脈はひの 一つとなればと短歌に通ふ 山田 米
水音の高く響ける辻あるも 小川は掩はれ乾ける町に 渡辺トヨ子
静もれる空の中ほどおぼろなる 月傘かぶり宵深まりぬ 小出寿枝
小川には小魚住みて水澄むも 作られし小川は昔と違ふ 荒川昌枝
半世紀も昔の小川を思ふ日々 ほとたるの光夏の思ひ出 安藤定岳
幼な日の夏は青田を通りくる 心地良き氣にまどろみるしに 一柳千鶴子
「用水路の小川かしら?」と見紛ふは 変り果てゆく我が町の景 井上とよほ
かけぶとんあけて蚤追ふ夏の夜の 風物詩なり昭和はじめの 木村和子
体力の衰へひたに感じつつ 嫁に頼れる今日この頃は 小出寿枝

編集後記

言葉は、人や組織を導く方向性を示す羅針盤になる。今年度の文化振興事業で講演いただく脳科学者の茂木健一郎氏は「言葉には、実際に人生を変える力がある」という▼不言実行、あてになる人間―これは、先般、町と連携協定を締結した中部大学の建学の精神である。この言葉には、「人はいろいろ意見はいう。しかし、実行がともなわなければ意味はない」「実行力のある、そして人や社会から信頼される人間をつくりたい」という魂が宿っている▼連携協定締結書にはこう記されている。「両者が幅広い分野で相互に連携・協力することにより、地域の発展と人材の育成に寄与する」。来春には、工学部に宇宙航空理工学科が開設される。本町をはじめこの地域は、宇宙航空産業が集積している。実学による専門知識や創造性を身に着けた人材は、誠に頼もしい▼本町のまちづくりの基本理念は「小さくて、キラリと輝く、まちづくり」である。茂木健一郎氏は「言葉は、脳の働きを通して、私たちが自分にかける魔法のようなもの」ともいう。言葉のもつ魔法の力も活かして、航空機産業の町としての輝きを、いつそう放ちたい。

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ